

都市の3Dデジタルマップの実装に向けた産学官ワーキンググループ（第4回） 議事要旨

日時：令和3年3月3日（水） 10時00分～12時00分

場所：オンライン開催

<WGでの主な意見>

- ・ユースケースとして、子供たちが東京都のデジタルツインを作っていくなど教育委員会との連携も大事。
- ・3Dの使い方として、豊かな社会に直結するような検討・考え方があった。ユースケースは、データ取得の必要性、正当性を確保する上で法制度からも重要。
- ・来年度より動かしていく上で、ユースケースをしっかりと意識することと、運用設計が必要になることも意識いただきたい。
- ・どのレベルのデータまでを都が作るのかなど、現実解を議論していくことが大事。
- ・国交省の取り組みとも、引き続き連携しながら進めていただきたい。ユースケースを考える中で、行政内部でもしっかり使えるようなかたちにしていくことも大事。
- ・ユースケースの議論は、もう一段詳細化して分類し、それぞれの議論を深めていく必要。
- ・3Dの可能性について、それぞれがアイデアを持ち寄り考えていくような会合を、今後も定期的開催し、参加者も増やしていくべき。「3Dの日」などを定めるのも良い。
- ・今後の方向性として、3次元になっていくことは間違いのないことであり、皆様も是非取り組んでいただきたい。

<議論のまとめ>

- ・第4回WGをもって、一定の結論のもと、本WGは一旦区切り。本日の議論も踏まえて最終検討結果をとりまとめ、3月下旬頃にHPで公開予定。
- ・来年度より、モデルエリアにてデータ整備、ユースケースの実証を行っていく予定。仕様の検証を継続的に実施する中で、必要に応じてWGの再招集も検討したい。